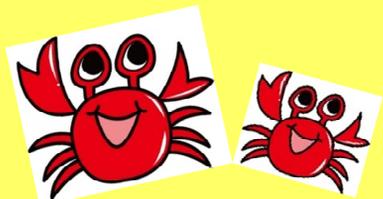


水ときらめき紀の川館に

団体の来館者がありました



流水調整課

H28.06.28

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立安原小学校4年生**の皆さんが見学に来られました。

気持ちのいい風の中、まずは河川敷でお弁当を食べ、そのあと、当事務所の流水調整課3名が見学のご案内をしました。

紀の川と紀の川大堰のことをクイズ形式で学び、たくさんの皆さんが積極的に手を挙げてくれたり、魚道では、魚だけでなく大小様々なカニなども見られ、楽しそうに歓声をあげている姿が見られました。

また、紀の川大堰の必要性や役割についてよく理解できたと、皆さんに喜んでいただけました。

団体見学概要

日時：平成28年6月27日(月)13:00～14:30

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：84名(生徒80名、先生4名)

団体名：和歌山市立安原小学校4年生

1.紀の川大堰概要説明

職員がスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み、役割などの説明。

集中して静かに話を聞く様子。



質問に元気よく手を挙げる様子。



2.館内の見学

2階操作室をガラス越しに見学。

大きな機械やモニターに興味津々の様子。



3階展望デッキへ。

スライドで見た大堰施設を目で見ながら、職員が説明しています。



1階展示室にて。

パソコンクイズコーナーが大盛況。めざせ！全問正解！昆虫たちの標本に釘付けになったり、川に関する本もおいています。



3.館外の魚道見学

魚道観察室に出発～



50～60cmのボラが悠々と泳ぐ姿を見せてくれ、間近で見る魚の姿に歓声が上がります。



人工河川式魚道を上から見ている様子

汽水域なので、吹く風も海の匂いがします。



質問

Q1.ゲートが水中へ下りていたら、魚たちはどうやって川を行き来するの？

A1.大堰の両端にある「魚道」を使い、行き来します。魚たちがスムーズに魚道を見つけられるよう「呼び水水路」も作っています。

Q2.操作室内の壁に時計がたくさんついてるのは、なぜ？

A2.時計以外に、温度計と湿度計があります。コンピューターは高温と湿度に弱いので、操作室の中は常に一定を保っています。その確認のためにつけているのです。

